



ニュースリリース

平成24年 7月 9日
千葉大学 看護学部

平成24年度 千葉大学看護学部公開講座

患者・家族の生活文化に即した
エンド・オブ・ライフケア
(専門職向け講座)

終末期医療をめぐる現状において、ケアをする人もケアを受ける人も満足することができる、最善を尽くしたと納得することができる支援の在り方が問われています。実際の終末期の臨床現場では、がん患者の高齢化があり、しかも高齢化のなかで慢性腎不全、慢性呼吸不全など慢性の臓器不全疾患が非常に多くなり、これらの患者さんのターミナルケアが現実の問題になってきています。さらには、パーキンソン病やALSといった神経変性疾患、また、進行性の認知症、そしてごく最近には施設ケアにおける寝たきりの認知症高齢者の看取りをどうするかという問題が一般誌でも話題になるようになってきました。

このような多様な現場における多様な疾患の終末期医療の在り方を模索する動きを反映して、「エンド・オブ・ライフケア」という新しい概念が生成されつつあります。これは、従来の「緩和ケア」や「ターミナルケア」では説明できない、死にゆく人々のケアを長い人生の中で最期までどう生きるかを支える在り方を幅広く考えなければならぬ課題に直面しているからであると考えられます。それぞれのその人らしい生き方を全うする人生の幕引きは、医療者や専門職が考え、演出すればいいというものではないはずです。人生の主人公であるその人がどのように考えるか、ケアを受けるその人がどのようなケアを受けたいのかということを表示できることを大切にしたいと考え、本講座を企画しました。

講師は、当該分野の専門家である、長江弘子特任教授です。

〔参考資料〕

- 1) パンフレット

本件に関するお問い合わせ先
千葉大学看護学部 (学部学務係 安藤多加代)
Tel : 043-226-2453 Fax : 043-226-2382
E-mail : tag5660@office.chiba-u.jp